

第7回 阿賀野川大規模氾濫に関する減災対策協議会

資 料

(1) 各機関の取組状況について	1
1) 取組概要	2
2) 取組状況	7
(2) 新たな課題、新たな取組について	39
(3) 緊急行動計画の今後の展開	42

(1) 各機関の取組状況について

1) 取組概要

令和2年度：減災目標を達成するための取り組み概要

ハード対策の主な取組

■洪水を河川内で安全に流す対策

○河道掘削、侵食対策、浸透対策、築堤

- ・北陸地方整備局：下里地区河道掘削工事中【R3.1現在】
- ・新潟県：阿賀野川の工事を実施【R3.1現在】

■内水対策

○排水機能の配備

- ・北陸地方整備局：災害対策車輛・機器の定期的な保守点検を行い、災害発生時の出動体制を確保
- ・新潟県：雨水ポンプ場整備の検討。調整池・雨水貯留施設による浸水対策の実施

■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

○円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計等の設置

- ・北陸地方整備局：簡易型カメラ4基の運用開始。1基の追加設置予定【R3.1現在】
- ・新潟県：危機管理型水位計を18河川18箇所を設置【R3.1現在】
簡易型カメラを8河川14箇所を設置【R3.1現在】

○庁舎等の耐水対策

- ・北陸地方整備局：出張所の耐水対策を検討中
- ・新潟市：市役所本庁舎においては、屋上にも自家発電設備を設置するなど、水害時の対応実施済み

令和2年度：減災目標を達成するための取り組み概要

ソフト対策①：円滑かつ迅速な避難行動のための取組

■情報伝達、避難計画等に関する事項

○リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実

- ・北陸地方整備局：Twitterを用いた情報提供を運用中
- ・新潟県：簡易型河川監視カメラ画像情報を河川防災情報システムにて公開【R2.7】
- ・新潟市、阿賀野市、五泉市、新発田市：防災アプリ、緊急速報メールについての周知・広報を実施。
- ・阿賀町：洪水時のダム放流情報や水位情報等をTV電話（告知情報端末）で情報発信
- ・東北電力（株）：ダム放流情報に関する説明を各自治体広報誌に掲載

○避難勧告等の発令に着目した防災行動計画（タイムライン）の整備、検証、改善

- ・新潟地方気象台：洪水警報の危険度分布活用にむけた地域防災計画の改定支援を実施【R2.7】
- ・新潟県：安野川、新谷川・姥堂川洪水浸水想定区域図（L2）を公表。新井郷川水系で洪水浸水想定区域図（L2）を作成予定【R3.1現在】

○水位周知河川の見直し及び追加指定の検討

- ・新潟県、阿賀野市：安野川を令和2年度より水位周知河川とした【R3.1現在】

■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組

○自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施

- ・北陸地方整備局、新潟県、新潟市、阿賀野市、五泉市、阿賀町、新発田市：点検を実施

○出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催

- ・新潟地方気象台、新潟県、新潟市、阿賀野市、五泉市、阿賀町、新発田市、東北電力（株）：出前講座やダム見学会を通じて説明会を実施

令和2年度：減災目標を達成するための取り組み概要

ソフト対策②：氾濫被害の軽減や避難時間確保のための水防や流域対策の取組

■ 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組

- 水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施
 - ・北陸地方整備局、新潟地方気象台、新潟県、新潟市、阿賀野市、五泉市、阿賀町、新発田市、東北電力(株)：洪水対応演習、全国ダム管理演習を実施
- 毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施
 - ・北陸地方整備局：太田川排水機場で阿賀野川災害対策車等訓練を実施【R2.5】
- 水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
 - ・新潟市、阿賀野市、五泉市、阿賀町、新発田市：広報誌やポスター、イベント等で団員の募集を実施。

■ 流域対策に関する取組

- 流域における氾濫被害軽減に向けた対策の検討を実施
 - ・五泉市：ハザードマップに家屋倒壊等氾濫想定区域など、早期立ち退き避難区域を設定・明示
 - ・新発田市：自主防災組織へ出前講座時に早期避難の周知

■ 要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組

- 要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施
 - ・新潟県：施設管理者に対して水害時の避難に役立つ情報提供を実施【R2.10】
 - ・新潟市、阿賀野市、五泉市、阿賀町、新発田市：要配慮者利用対象施設へ避難確保計画作成を促す。

令和2年度：減災目標を達成するための取り組み概要

ソフト対策③：一刻も早く社会・経済活動を回復させるための排水活動や協働の取組

■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施

○大規模水害を想定した阿賀野川排水計画(案)の検討を実施

- ・北陸地方整備局：手引きに基づき、L1,R1ブロック見直し実施。R2,R3ブロック計画作成
- ・阿賀町：内水排除の必要な樋門を設定し、排水ポンプ設置応援業者の選定と大型排水ポンプ車等の配備を検討

○関係機関が連携した排水実動訓練の実施

- ・北陸地方整備局、新潟県、五泉市：太田川排水機場で排水ポンプ車の実動訓練を実施【R2.5.13】
- ・新潟市、阿賀野市、五泉市、阿賀町：排水ポンプ車出動要請の連絡体制を確認

■水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組

○高齢者福祉部局の協議会への参加や情報提供を受けるなどにより情報共有を実施

- ・新潟市：高齢者福祉部局へ本協議会に関する情報提供を行うとともに、協議会への関わり方を検討中
- ・阿賀野市、五泉市、新発田市、阿賀町：福祉部局へ当協議会に関する情報を提供し、情報共有する

○地域包括支援センター・ケアマネージャーと連携した避難行動の理解促進等

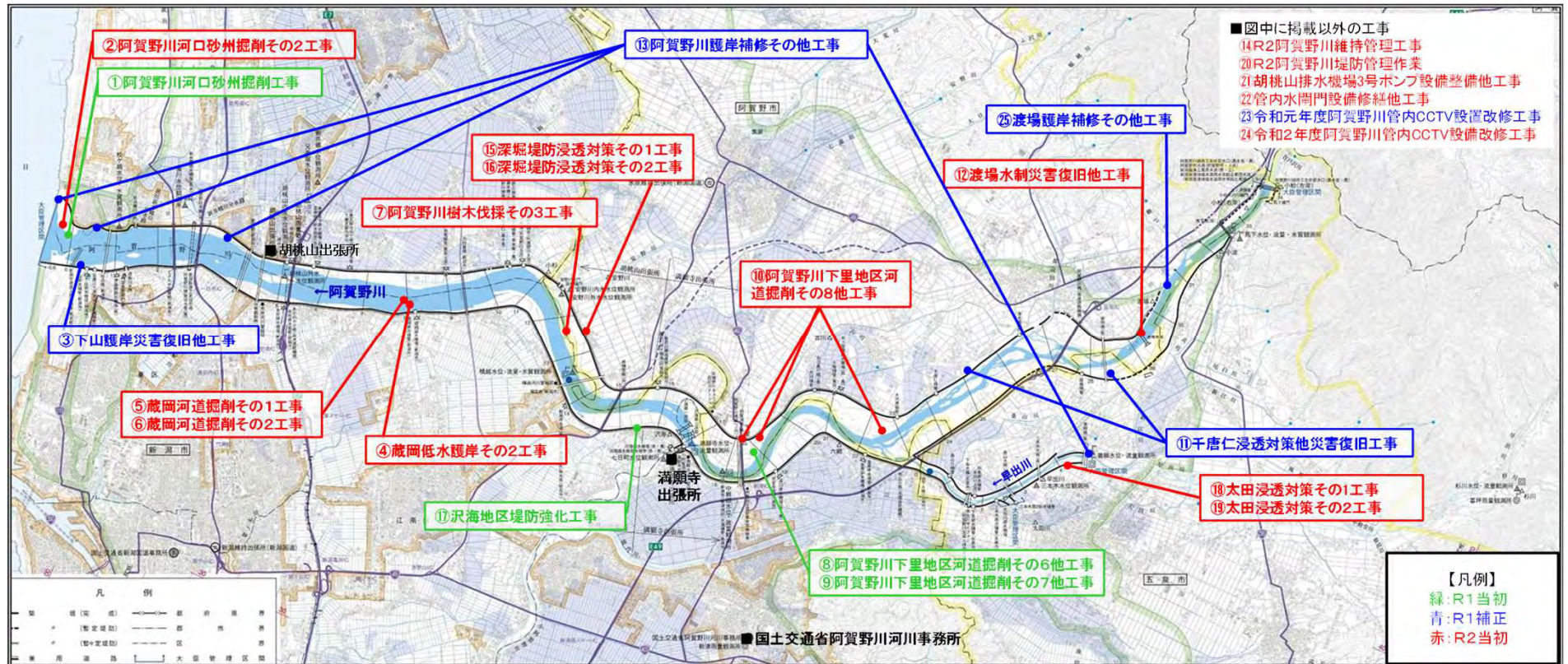
- ・阿賀町：地域包括支援センターへ洪水ハザードマップを提供、情報共有を実施する

2) 取組状況

カテゴリ	河道掘削、侵食対策、浸透対策 円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ・簡易水位計や量水標等の設置
内容	洪水を安全に流すため・危機管理型のハード対策の推進 CCTVカメラ、簡易水位計・量水標の設置
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所



令和2年度 阿賀野川河川事務所の河川事業の概要



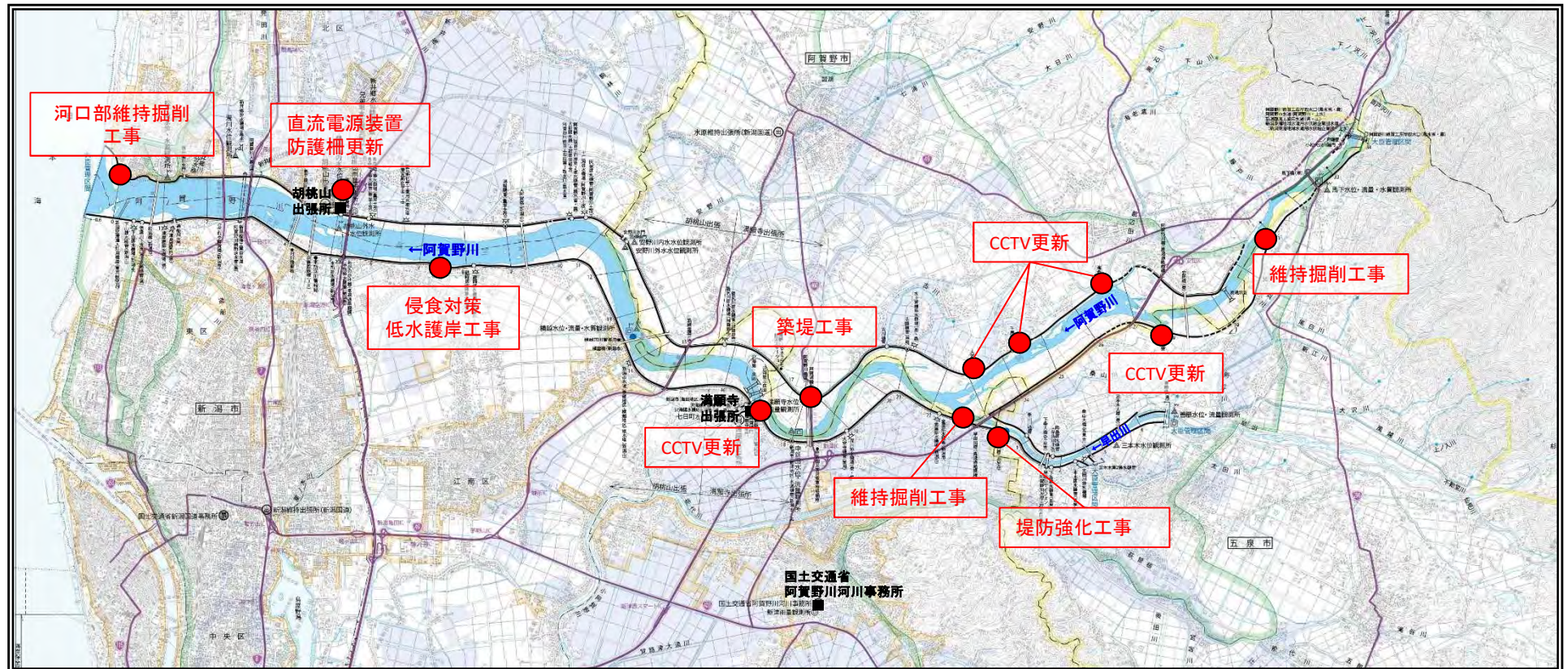
(様式2-取組概要)

様式作成機関:阿賀野川河川事務所

カテゴリ	河道掘削、侵食対策、浸透対策 円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ・簡易水位計や量水標等の設置
内容	洪水を安全に流すためのハード対策の推進、築堤、侵食対策、浸透対策、維持掘削 CCTVカメラの更新
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所



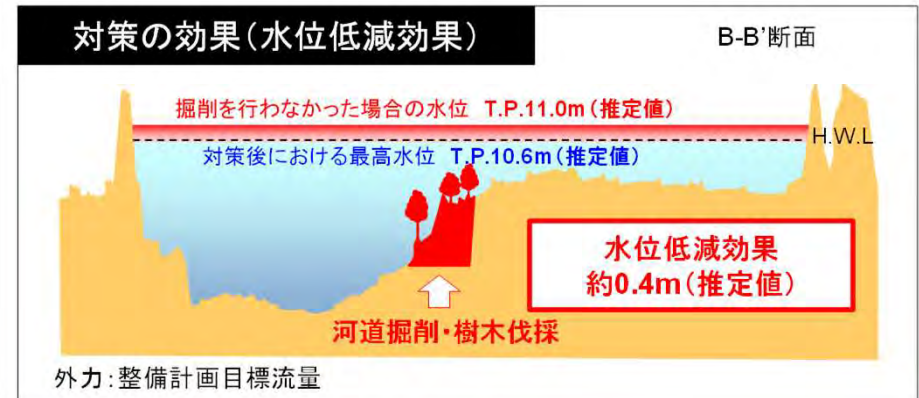
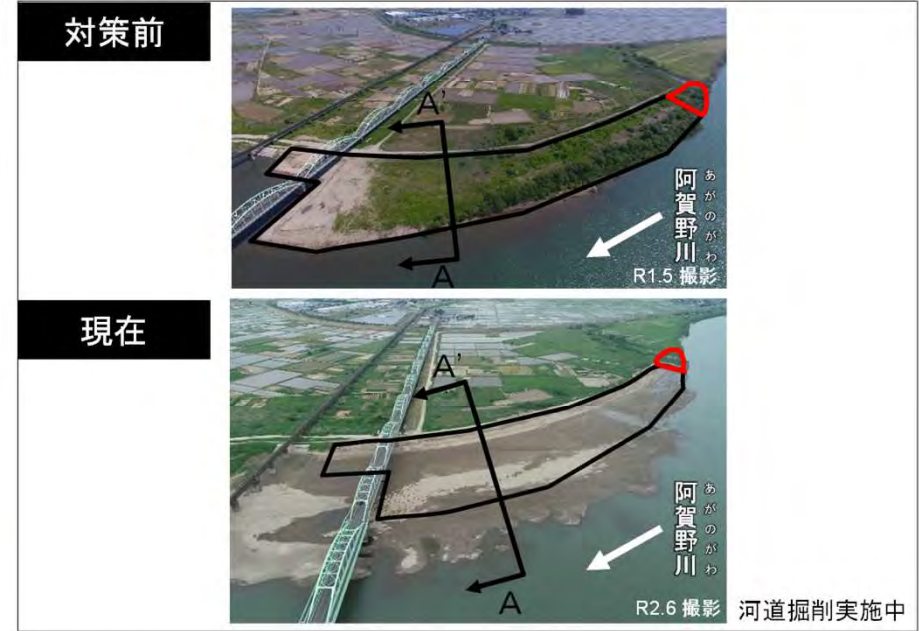
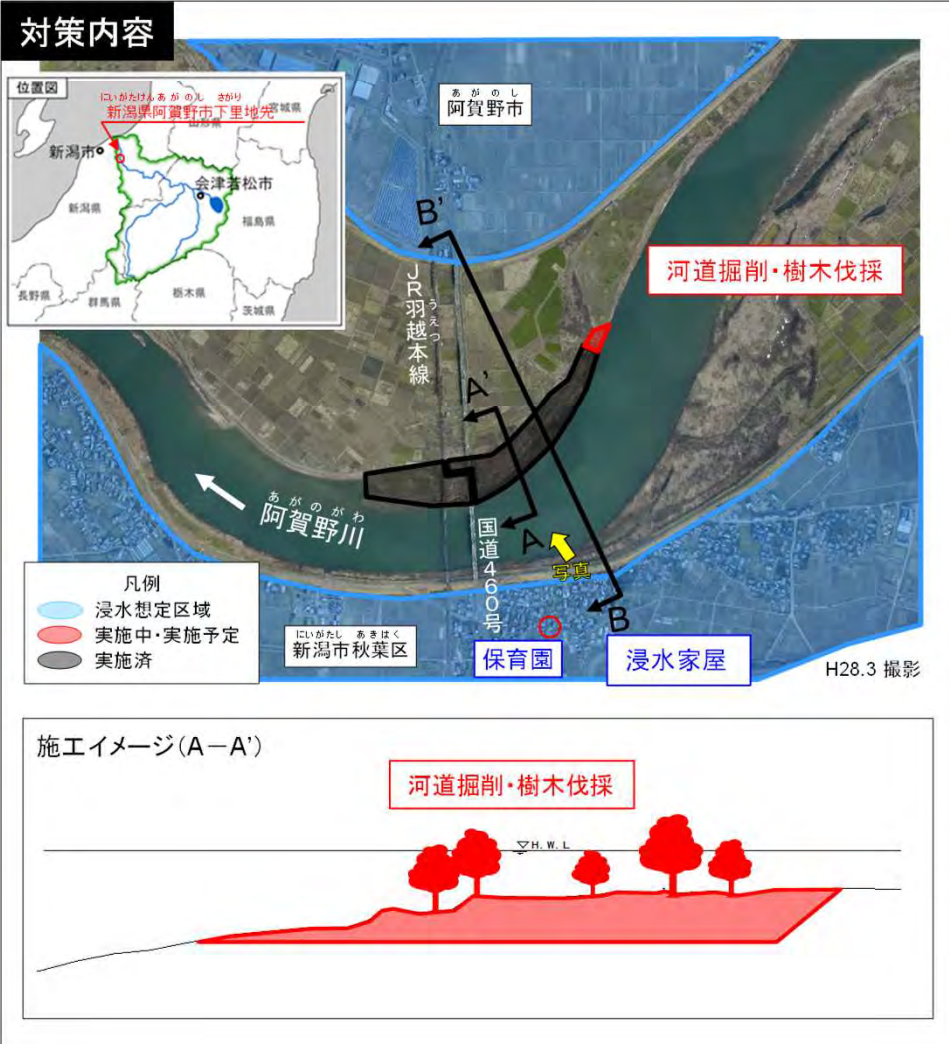
令和2年度 補正予算 施行箇所(予定)



ここに記載する内容は令和3年2月末現在の見通し(予定)であるため、この記載と異なる場合、又はここに記載されない工事が発注される場合があります。

3か年緊急対策進捗状況【阿賀野川水系阿賀野川】令和3年2月1日時点

- 阿賀野川では氾濫による危険性が特に高い区間において、洪水を安全に流下させるために必要な樹木伐採・河道掘削等を実施します。

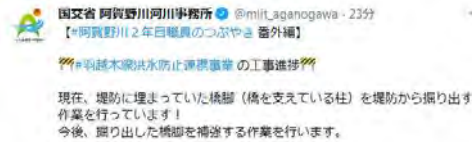


治水対策の積極的な広報

● 羽越本線洪水防止連携事業

JR東と連携し危険箇所の解消を図る本事業を通じ、河川改修の必要性、水防災意識社会の再構築への機会とし、広く沿川住民に広報を図る取組を実施。

■ Twitterでの情報発信



■ 地域情報紙を活用した事業広報

「阿賀野川え〜とこだより(第31号)」「(社)阿賀野川環境学舎発行)に掲載
発行部数9万1千部。新聞折り込みで、阿賀野川沿川に配布。

表紙は満願寺閘門で行われた「嫁入り舟」。この取組は「R1手作りふるさと郷土」受賞。



▽ 阿賀野川河川事務所の特集記事
主要事業として本事業や流域治水を広報。

■ 事業ポスター掲示

市役所・図書館、関係自治会の公民館にポスター掲載



■ マスコミ向け現地説明会の開催

マスコミに関心を持っていただけるよう、「現地説明会」を開催。
更に、実際に水防活動を行った水防団と共に取材を受けるなど工夫。



樹木伐採～三つのコスト縮減の取り組み～

河川内の樹木は、洪水時に流れの妨げとなって、さらには流された樹木により、堤防や護岸などの河川管理施設に損傷等を与える危険性があり、治水問題となっています。また、河川巡視の際の視野も遮られ、ゴミの不法投棄の温床となっています。このような河川管理上支障がある樹木の伐採を毎年、計画的に実施しています。樹木伐採にあたっては、経費の節約と伐採木の有効活用を図るため以下の取り組みを行っています。

- ① 希望する皆さんへ無償提供
- ② 自治体にバイオ燃料用として無償提供
- ③ 切り株の萌芽抑制

従来は、当事務所が伐採木を処分場まで運搬し、有料処分。




② バイオ燃料用として自治体へ無償提供
運搬費、処分費を縮減。自治体は伐採木をバイオ燃料に活用している。



ペレット材(燃料)

① 希望者へ無償提供
運搬費、処分費が縮減。薪ストーブやキノコ栽培等に活用している。



バイオ燃料の循環



従来は、当事務所が伐採・除根。除去した根株を処分場まで運搬し、有料処分。

③ 切り株の萌芽抑制の試験施工
切り株からの萌芽対策で根株除去は高価であり、抑制処理を行うことで、伐採費全体を縮減。
令和元年度からは、覆土による追加試験を開始。

萌芽抑制工の手引き(案)H30.3策定



萌芽抑制工の手引き書(案)

内容

- 掘挿入 [8孔、深さ20cm]
- 木酢液挿入 [8孔、深さ20cm]
- 木酢液塗布 [2回塗り]

平成30年3月
阿賀野川河川事務所
管理課

阿賀野川HPにて公開中
<http://www.hrr.mlit.go.jp/agano/index.html>

(様式2-取組概要)

カテゴリ	排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備
内容	出水時連絡体制の確認・整備
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所

- ・県、市と連携した内水排除訓練を実施
 - ・排水ポンプ車、照明車及び緊急排水ポンプの設置・排水・撤去を実施
 - 場所：阿賀野川右岸20.6k 太田川排水機場付近
 - 日時：令和2年5月13日（水）9:00～11:00
 - 参加者（約20名）
- 阿賀野川河川事務所
新潟県新発田地域振興局
五泉市
排水ポンプ車設営業者



新潟・福島豪雨時の状況(H23.7)

位置図



排水訓練の状況



排水ポンプ車設営訓練



照明車設営訓練



手前排水ポンプ車 奥緊急排水ポンプ設営



緊急排水ポンプ投入



設営完了



実働訓練

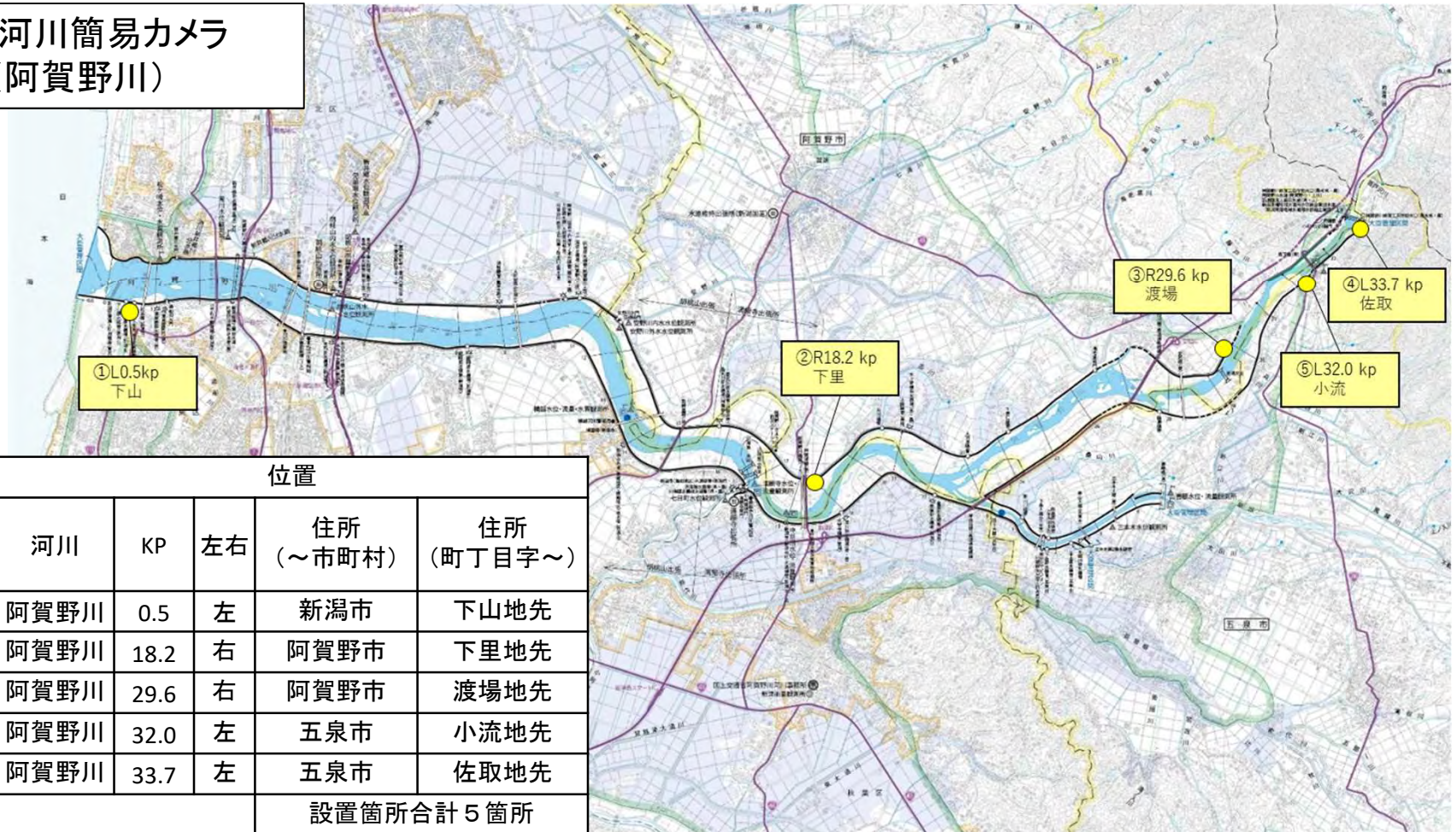
(様式2-取組概要)

様式作成機関:阿賀野川河川事務所

カテゴリ	円滑な避難活動や水防活動を支援するため、CCTVカメラ、簡易水位計や量水標等の設置
内 容	簡易カメラの設置
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所

国土交通省阿賀野川河川事務所では、阿賀野川に令和2年度4基の簡易カメラを設置。令和2年度運用開始(川の水位情報<https://k.river.go.jp>)。令和3年度は下山地先に1基の簡易カメラを設置中。

阿賀野川河川簡易カメラ
位置図 (阿賀野川)



No.	名称	位置				
		河川	KP	左右	住所 (~市町村)	住所 (町丁目字~)
1	下山	阿賀野川	0.5	左	新潟市	下山地先
1	下里	阿賀野川	18.2	右	阿賀野市	下里地先
2	渡場	阿賀野川	29.6	右	阿賀野市	渡場地先
3	小流	阿賀野川	32.0	左	五泉市	小流地先
4	佐取	阿賀野川	33.7	左	五泉市	佐取地先
						設置箇所合計 5 箇所

(様式2-取組概要)

様式作成機関:阿賀野川河川事務所

カテゴリ	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信などプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
内容	川の防災情報システムの改良・スマートフォンを活用した情報発信
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所

国土交通省阿賀野川河川事務所では、Twitterを用いた情報提供を見直し。

● 「2年目職員をつぶやき」

令和元年東日本台風出水（既往3位）では、住民の避難行動に結びつかない現状を認識。平時から当方の情報に触れ、国土交通行政への理解、いざ災害時での情報の受け手を増やすべく、Twitterを活用し、より親しみやすい内容を目指し2年目職員が担当して定期的な投稿を実施。

- 若手職員の日線から週1回投稿。定期投稿及びハッシュタグの効果的使用によりフォロワー拡大を狙う。

＜フォロワー数の増加状況＞
2020.4.1 ; 911 ⇒ 2021.2.16現在 ; 1112

▼ 最も見られたツイート



＜ツイート内容＞

- 4月 管内紹介
- 5月 管内紹介・出水への備え
- 6月 出水への備え
- 7月 出水への備え
- 8月 雑多な記事
- 9月 河川改修の歴史
- 10月 河川改修の歴史
- 11月 河川改修の歴史
- 12月 若手職員仕事紹介

- 出水時のツイート。伝えることを念頭に、若手職員が中心となって改良。本年出水では広報専属に職員配置

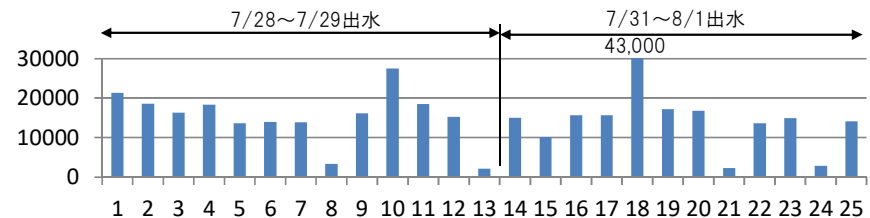
▼ 最も見られたツイート



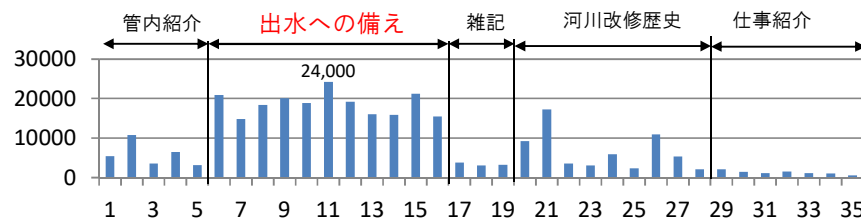
R2年度出水時ツイート数
7/28～7/29出水：13回
7/31～8/1出水：12回



■ 出水時ツイートを見られた回数（インプレッション数）



■ ツイートを見られた回数（インプレッション数）



(2020.12.16時点：2年目職員をつぶやき数；35)

カテゴリ	排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施
内容	手引きに基づき、L1,R1ブロック見直し実施
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所



L1ブロック 排水対策計画イメージ(阿賀野川左岸14.8kで破堤した場合)

■ポンプ車配置案

排水ポンプ車配置箇所	
区間	・河口～小阿賀野川合流点(0.0k～17.0k) ●本所排水機場・本所排水樋管 ⇒最大配置可能台数:4台 ●鹿岡排水機場・鹿岡排水樋管 ⇒最大配置可能台数:3台 ●馬屋野瀬排水機場 ⇒最大配置可能台数:6台 ●佐柳用水路 ⇒最大配置可能台数:40台 ●貝沼排水機場 ⇒最大配置可能台数:7台
設置台数	
特徴	・拡散型で浸水範囲は広いが浸水深は浅い ・排水機場・樋管樋管、用水路等の差場が必要 ・堤防の天端幅は6m以上

■アクセラルート案(第1候補)

待機場所① 新潟防災センター	
アクセラルート	①新潟防災センター →国道7号BP →湯川IC →国道3号(森平橋) →阿賀野川左岸堤防(現地)
所要時間・距離	約22分:約23.5km

待機場所① 新潟防災センター	
アクセラルート	①新潟防災センター →国道8号 →平成大橋 →信濃川下流右岸堤防(現地)
所要時間・距離	約12分:約7.0km

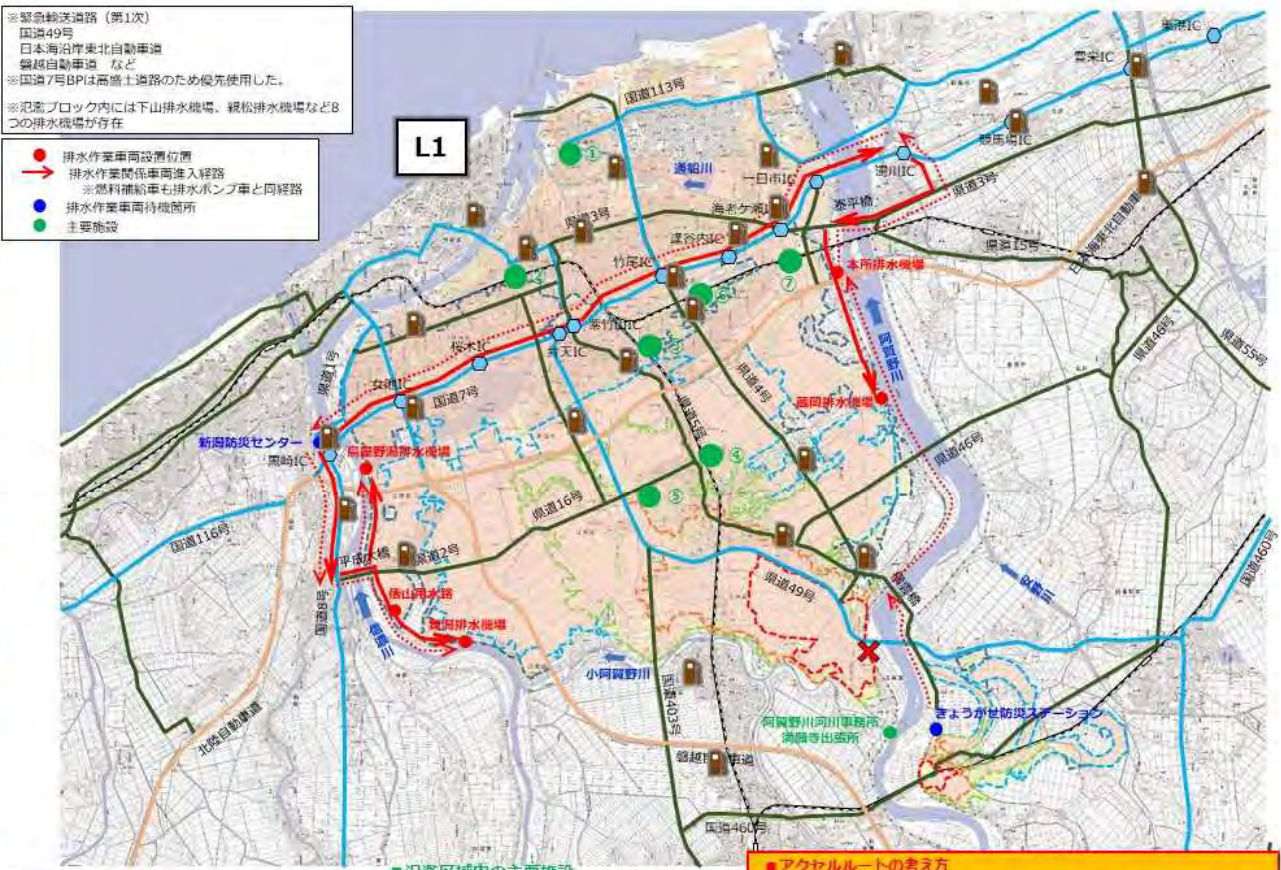
■アクセラルート案(第2候補)

待機場所② きょうがせ防災ステーション	
アクセラルート	①きょうがせ防災ステーション →阿賀野川右岸堤防 →横雲橋 →阿賀野川左岸堤防(現地)
所要時間・距離	約13分:約11.5km

待機場所② きょうがせ防災ステーション	
アクセラルート	①きょうがせ防災ステーション →阿賀野川右岸堤防 →横雲橋 →阿賀野川左岸堤防(現地) →森平橋 →国道7号BP →湯川IC →平成大橋 →信濃川下流右岸堤防(現地)
所要時間・距離	約46分:約37.3km

※緊急輸送道路(第1次)
 国道49号
 日本海沿岸東北自動車道
 信越自動車道 など
 ※国道7号BPは高嵩土道路のため優先使用した。
 ※氾濫ブロック内には下山排水機場、親松排水機場など8つの排水機場が存在

● 排水作業車両設置位置
 → 排水作業関係車両進入経路
 ※燃料補給車も排水ポンプ車と同経路
 ● 排水作業車両待機箇所
 ● 主要施設



緊急輸送道路

第1次緊急輸送道路	第2次緊急輸送道路	第3次緊急輸送道路
-----------	-----------	-----------

凡例

0.5m未満の区域	0.5m～3.0m未満の区域	3.0m～5.0m未満の区域	5.0m以上の区域
-----------	----------------	----------------	-----------

到達時間

到着後1時間	到着後3時間	到着後6時間	到着後12時間	到着後24時間
--------	--------	--------	---------	---------

① 新潟市東区役所
 ② JR新潟駅
 ③ JR越後石山駅
 ④ JR亀田駅
 ⑤ 新潟市江南区役所
 ⑥ JR東新潟駅
 ⑦ JR大形駅

■アクセラルートの考え方

- 新潟防災センター(北陸技術事務所)を第1候補とする(第2候補であるきょうがせ防災ステーションは、信濃川下流右岸の排水箇所へのアクセスが悪く、移動時間を多く要する)。
- L1ブロックは拡散型で浸水深が最大でも3m未満と浅いため、安定した釜場確保のため、浸水区域に接する排水機場、用水路、用水機場にポンプ車を配置
- 使用するルートは大規模氾濫時に優先的に道路啓開が行われる緊急輸送道路を基本としており、堤防までの通行可能(浸水深30cm以下)な道路とする。

カテゴリ	排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施
内容	手引きに基づき、L1,R1ブロック見直し実施
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所



R1ブロック 排水対策計画イメージ(阿賀野川右岸11.0kmで破堤した場合)

■ポンプ車配置案

排水ポンプ車配置箇所

区域: 河口~安野川合流点 (0.0k~11.6k)

設置台数

- 新井郷川水門 →最大配置可能台数: 5台
- 胡桃山排水機場・胡桃山水門 →最大配置可能台数: 5台
- 高森下排水機場・高森下排水機場 →最大配置可能台数: 4台
- 湯郷研管 →最大配置可能台数: 1台

特徴

- 拡散型で浸水範囲は広いが浸水深は浅い
- 排水機場、研管研管、用水路等の差場が必要
- 堤防の天端幅は6m以上

■アクセラート案 (第1候補)

待機場所① きょうがせ防災ステーション

アクセラート

- 1 きょうがせ防災ステーション
 - 阿賀野川右岸堤防
 - 堤雲橋 (堤道586号)
 - 堤道4号
 - 堤道46号
 - 大阿賀橋
 - 阿賀野川左岸上流堤防 (現地)
- 2 きょうがせ防災ステーション
 - 阿賀野川右岸堤防
 - 堤雲橋
 - 堤道4号
 - 竹岸IC (国道7号BP)
 - 海老ヶ渚IC
 - 泰平橋OR松浜橋
 - 阿賀野川左岸下流堤防 (現地)

所要時間・距離 約14~38分: 約10.1~23.0km

■アクセラート案 (第2候補)

待機場所② 新潟防災センター

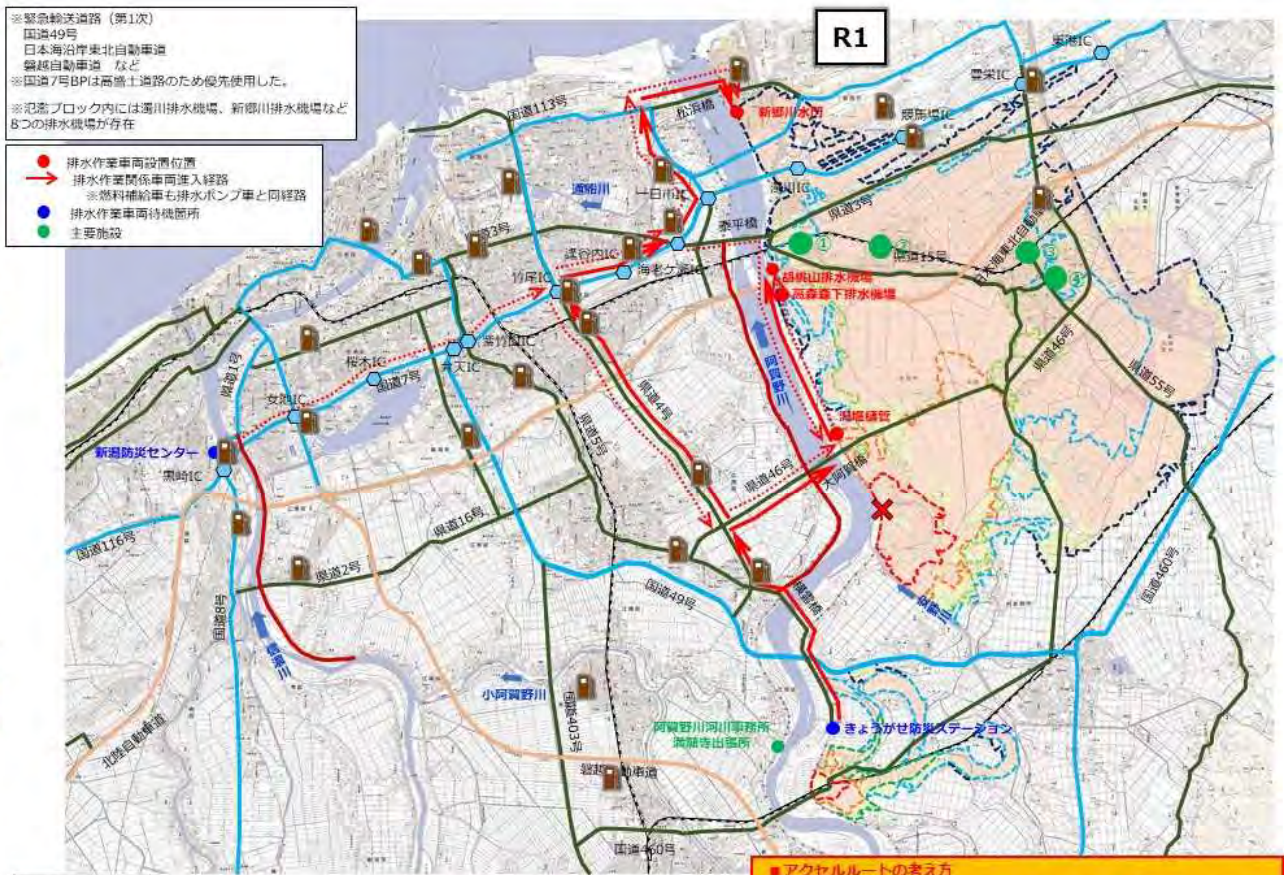
アクセラート

- 1 新潟防災センター
 - 国道7号BP
 - 海老ヶ渚IC
 - 泰平橋OR松浜橋
 - 阿賀野川左岸下流堤防 (現地)
- 2 新潟防災センター
 - 国道7号BP
 - 竹岸IC
 - 堤道4号
 - 堤雲橋
 - 阿賀野川左岸上流堤防 (現地)

所要時間・距離 約18~29分: 約15.0~22.5km

※緊急輸送道路 (第1次)
 国道49号
 日本海沿岸東北自動車道
 曇野自動車道 など
 ※国道7号BPは高層土道路のため優先使用した。
 ※氾濫ブロック内には通川排水機場、新御川排水機場など
 8つの排水機場が存在

● 排水作業車両設置位置
 → 排水作業関係車両進入経路
 ※燃料補給車も排水ポンプ車と同経路
 ● 排水作業車両待機箇所
 ● 主要施設



緊急輸送道路

- 第1次緊急輸送道路
- 第2次緊急輸送道路
- 第3次緊急輸送道路

凡例

- 0.5m未満の区域
- 0.5m~3.0m未満の区域
- 3.0m~5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域

到達時間

- 到着後1時間
- 到着後2時間
- 到着後3時間
- 到着後4時間
- 到着後5時間
- 到着後6時間

■氾濫区域内の主要施設

No.	主要施設名称
①	JR新潟駅
②	JR早通駅
③	JR雲楽駅
④	新潟市北区役所

■アクセラートの考え方

- ・きょうがせ防災ステーションを第1候補とする (第2候補である新潟防災センター-排水箇所までの距離がきょうがせ防災ステーションに比べ長く、移動時間に多くを要する)。
- ・L1ブロックは拡散型で浸水深が最大でも3m未満と浅いため、安定した差場確保のため、浸水区域に接する排水機場、用水路、用水機場にポンプ車を配置
- ・使用するルートは大規模氾濫時に優先的に道路啓開が行われる緊急輸送道路を基本としており、堤防までの通行可能(浸水深30cm以下)な道路とする。

カテゴリ	排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施
内容	手引きに基づき、R2,R3ブロック計画作成
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所



R2ブロック 排水対策計画イメージ(阿賀野川右岸19.4kmで破堤した場合)

■ポンプ車配置案

排水ポンプ車配置箇所	
区間	・安野川合流点～横雲橋 (11.6k～13.8k) ・横雲橋～新横雲橋 (13.8k～15.0k)
●阿賀野川右岸堤防	最大配置可能台数: 112台
設置台数	●龍尻排水機場、水ヶ巻根排水機場 各4台×2: 8台 ⇒最大配置台数: 120台
特徴	・氾濫流は破堤後3～6時間かけて到達 ・堤防の天端幅は5m以上 ・ブロックの中では最も氾濫水が集中

■アクセセルルート案 (第1候補)

待機場所①	日本海沿岸東北自動車道 【豊栄SA・上り】
アクセセルルート	① 豊栄SA →日本海沿岸東北自動車道 →新潟東SIC →国道4号 →横雲橋 →現地
所要時間・距離	約17分: 約12.1km

待機場所①	日本海沿岸東北自動車道 【豊栄SA・上り】
アクセセルルート	② 豊栄SA →日本海沿岸東北自動車道 →新潟東SIC →国道4号 →国道46号 →大阿賀橋 →右岸堤防 →現地
所要時間・距離	約21分: 約16.3km

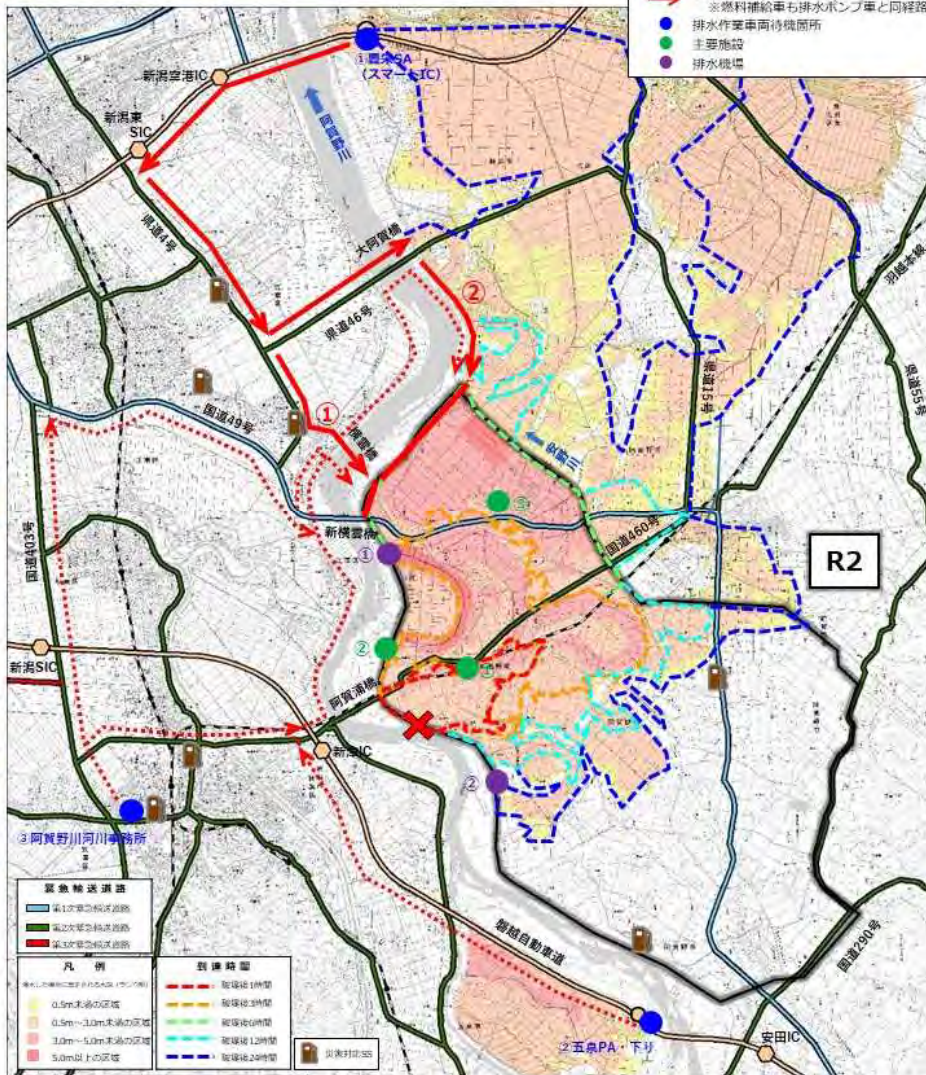
■氾濫区域内の排水機場

No.	主要施設名称
①	龍尻排水機場
②	水ヶ巻根排水機場

■氾濫区域内の主要施設

No.	主要施設名称
①	京ヶ瀬駅
②	きょうがせ防災ステーション
③	阿賀野市京ヶ瀬支所

※緊急輸送道路 (第1次)
国道49号
日本海沿岸東北自動車道
磐越自動車道 など



→ 排水作業車両設置位置
→ 排水作業関係車両進入経路
※燃料補給給車右排水ポンプ車と同経路
● 排水作業車両待機箇所
● 主要施設
● 排水機場

■アクセセルルート案 (第2・3候補)

待機場所②	新越自動車道 【五泉PA・下り】
アクセセルルート	・五泉PA →磐越自動車道 →新津IC →国道460号 →国道17号 →横雲橋 →現地
所要時間・距離	約18分: 約16.8km

待機場所②	新越自動車道 【五泉PA・下り】
アクセセルルート	・五泉PA →磐越自動車道 →新津IC →国道460号 →国道17号 →国道46号 →大阿賀橋 →右岸堤防 →現地
所要時間・距離	約23分: 約21.9km

待機場所③	阿賀野川河川事務所
アクセセルルート	・阿賀野川河川事務所 →国道7号 →国道460号 →国道17号 →横雲橋 →現地
所要時間・距離	約20分: 約12.2km

待機場所③	阿賀野川河川事務所
アクセセルルート	・阿賀野川河川事務所 →国道7号 →国道403号 →国道49号 →横雲橋 →現地
所要時間・距離	約28分: 約17.8km

■アクセセルルートの考え方

- ・豊栄SA (スマートIC) を待機場所の第1候補とする。(五泉PA、阿賀野川河川事務所は収容可能台数が少なく、移動時間も多く要する)
- ・氾濫水が最も集中する安野川合流点～横雲橋、横雲橋～新横雲橋間の堤防上にポンプ車を配置
- ・使用するルートは大規模氾濫時に優先的に道路啓開が行われる緊急輸送道路を基本としており、堤防までの通行可能(浸水深30cm以下)な道路とする

カテゴリ	排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施
内容	手引きに基づき、R2,R3ブロック計画作成
実施主体	国土交通省阿賀野川河川事務所



R3ブロック 排水対策計画イメージ(阿賀野川右岸30.4kで破堤した場合)

■ポンプ車配置案

排水ポンプ車配置箇所	
区間	<ul style="list-style-type: none"> 阿賀野川右岸堤防 (27.2k~28.3k) <ul style="list-style-type: none"> ※排水ホースの範囲に浸水がない箇所又は、利用地は狭く 都辺田川 (延長約480m)
設置台数	<ul style="list-style-type: none"> 阿賀野川右岸堤防 <ul style="list-style-type: none"> 最大配置可能台数: 46台 都辺田川左岸 (延長約480m) <ul style="list-style-type: none"> 最大配置可能台数: 16台 ＝最大配置台数: 62台
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・氾濫流は破堤後1~3時間かけて到達 ・堤防の天端幅は5m程度 ・背後地は地盤高が低く氾濫水が集中 ・ bypass自動車道交差点は道路高が低い

■アクセルルート案 (第1候補)

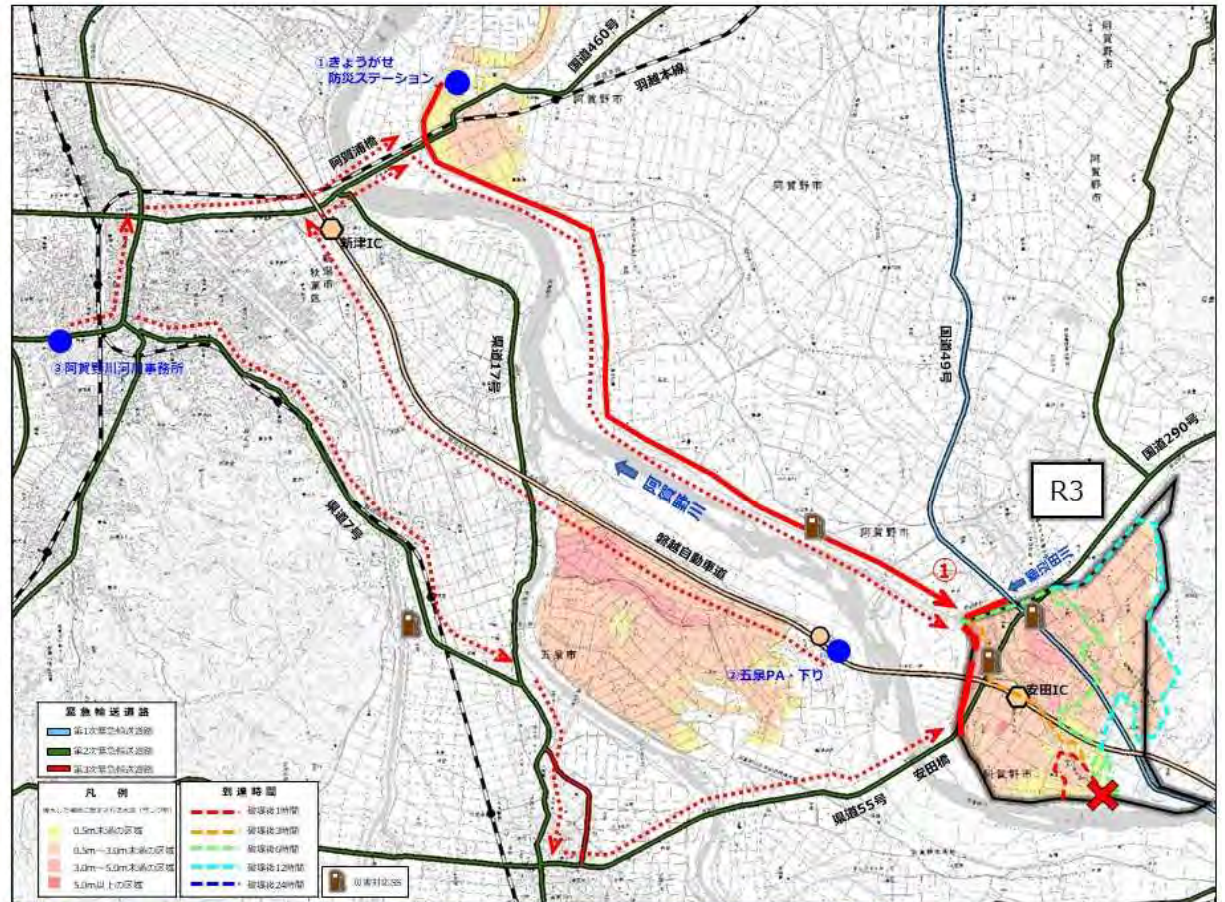
候補場所① きょうがせ防災ステーション	
アクセルルート	<ul style="list-style-type: none"> ①きょうがせ防災ステーション → 右岸堤防 → 現地
所要時間・距離	約11分: 約9.9km

■アクセルルート案 (第2・3候補)

候補場所② 新津自動車道 (五泉PA・下り)	
アクセルルート	<ul style="list-style-type: none"> 五泉PA → bypass自動車道 → 新津IC → 国道460号 → 阿賀浦橋 → 現地
所要時間・距離	約19分: 約18.9km

候補場所③ 阿賀野川河川事務所	
アクセルルート	<ul style="list-style-type: none"> 阿賀野川河川事務所 → 堤道7号 → 国道460号 → 阿賀浦橋 → 右岸堤防 → 現地
所要時間・距離	約23分: 約16.4km

候補場所④ 阿賀野川河川事務所	
アクセルルート	<ul style="list-style-type: none"> 阿賀野川河川事務所 → 堤道7号 → 堤道17号 → 堤道55号 → 安田橋 → 現地
所要時間・距離	約25分: 約14.4km



■アクセルルートの考え方

- ・きょうがせ防災ステーションを第1候補とする。(新湖防災センター(北陸技術事務所)、北陸地方整備局美咲庁舎において(は)使用可能だが活動拠点として排水箇所から20km程度離れており、移動時間を多く要する)
- ・氾濫水が最も集中する都辺田川合流点~安田橋の本川堤防、都辺田川の右岸堤防上にポンプ車を配置
- ・安田橋上流は堤防復旧の作業車の通行が想定されるため使用しない
- ・使用するルートは大規模氾濫時に優先的に道路啓開が行われる緊急輸送道路を基本としており、堤防までの通行可能(浸水深30cm以下)な道路とする

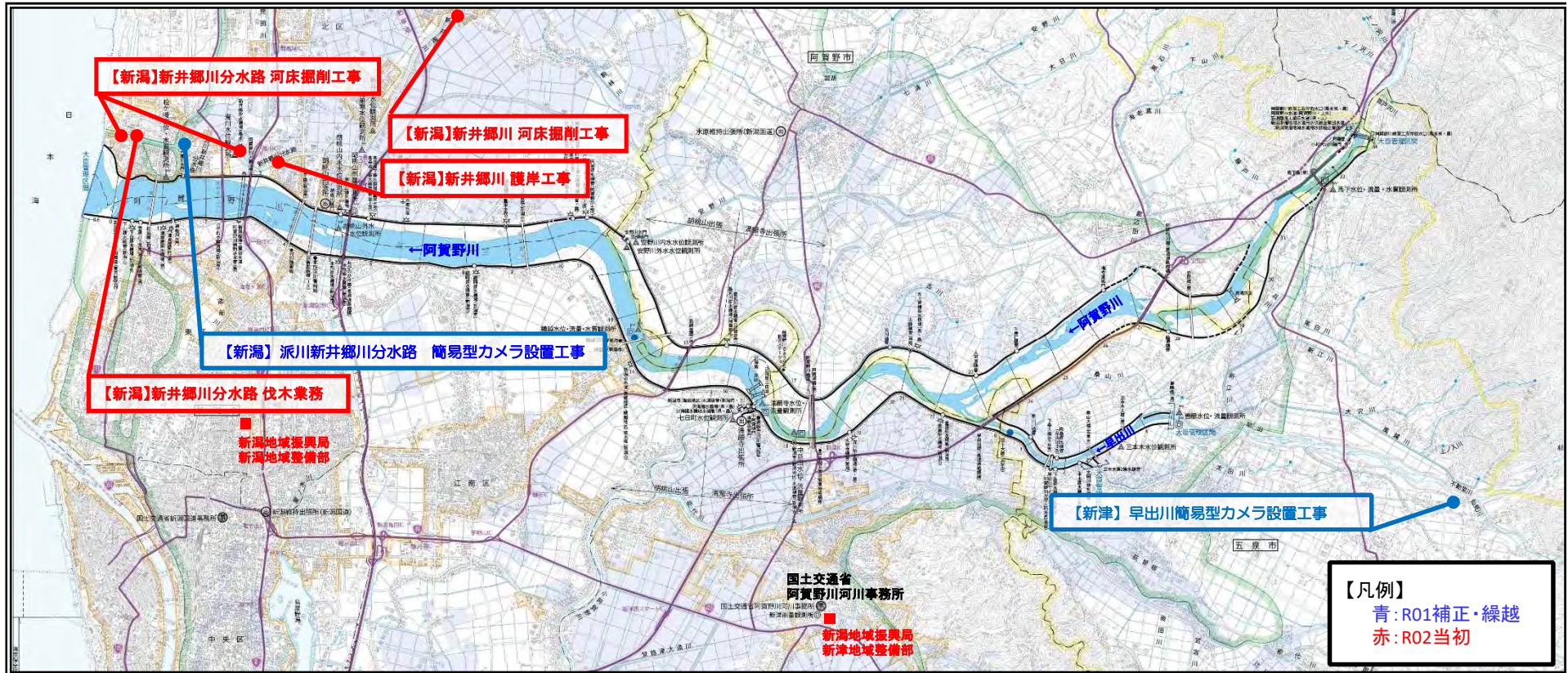
→ 排水作業車両設置位置
→ 排水作業関係車両進入経路
 ※燃料補給車も排水ポンプ車と同経路
● 排水作業車両待機箇所
● 主要施設
● 排水機場
 ※緊急輸送道路(第1次)
 国道49号、bypass自動車道 など

(様式2-取組概要)

様式作成機関:新潟県



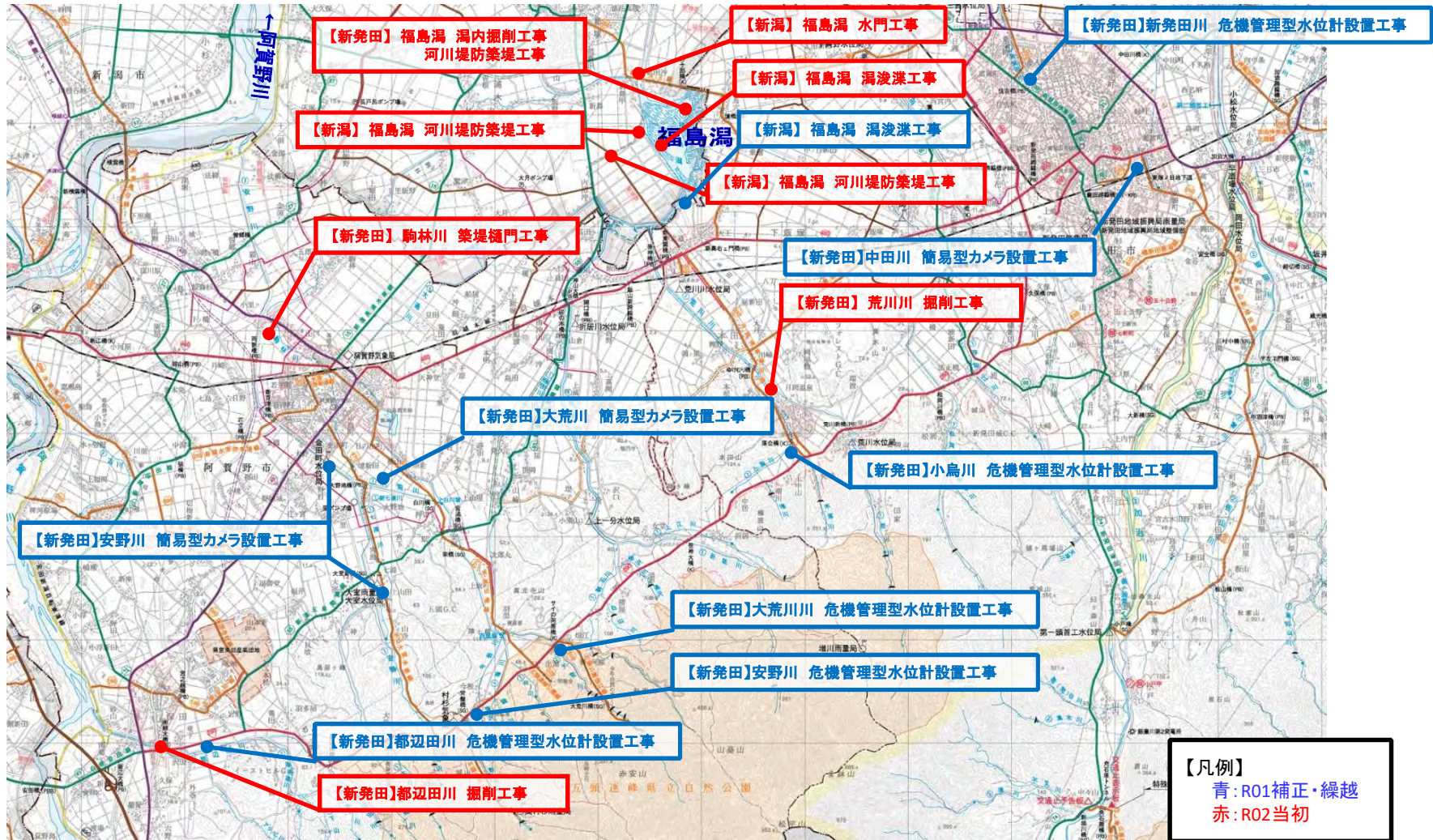
令和2年度【新潟地域整備部・新津地域整備部】の河川事業の概要



ここに記載する内容は令和2年2月 日現在の見通し(予定)のため、この記載と異なる場合、又はここに記載されない工事が発注される場合があります。
※ R1補正については、一部発注を行い、現在施工中の箇所もあります。



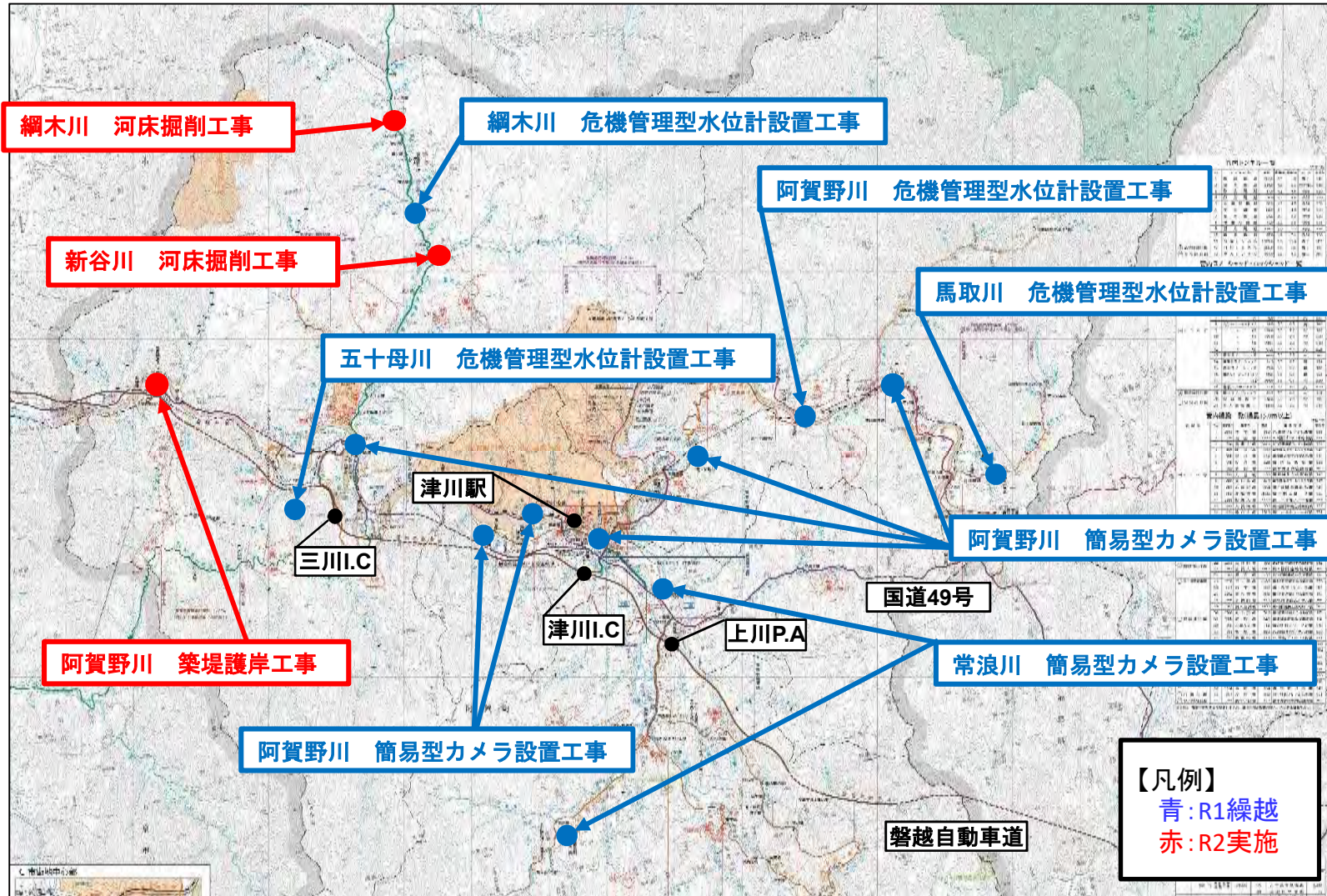
【新発田地域整備部(一部新潟地域整備部含)】令和2年度 新潟県の河川事業の概要



ここに記載する内容は令和2年2月10現在の見通し(予定)のため、この記載と異なる場合、又はここに記載されない工事が発注される場合があります。
※ R01補正については、一部発注を行い、現在施工中の箇所もあります。



【津川地区振興事務所】 令和2年度 河川事業の概要



ここに記載する内容は平成31年5月22日現在の見通し(予定)のため、この記載と異なる場合、又はここに記載されない工事が発注される場合があります。
※ H30補正については、一部発注を行い、現在施工中の箇所もあります。

(様式2-取組概要)

カテゴリー	河道掘削等
内容	河道掘削及び樹木の伐採の効果（河道掘削状況①）
実施主体	新潟県（新発田地域整備部）

「防災・減災、国土強靱化」のための3か年緊急対策により、重点的に河道掘削、樹木伐採を実施し、相当の水位低減効果を発揮したものと推察されます。

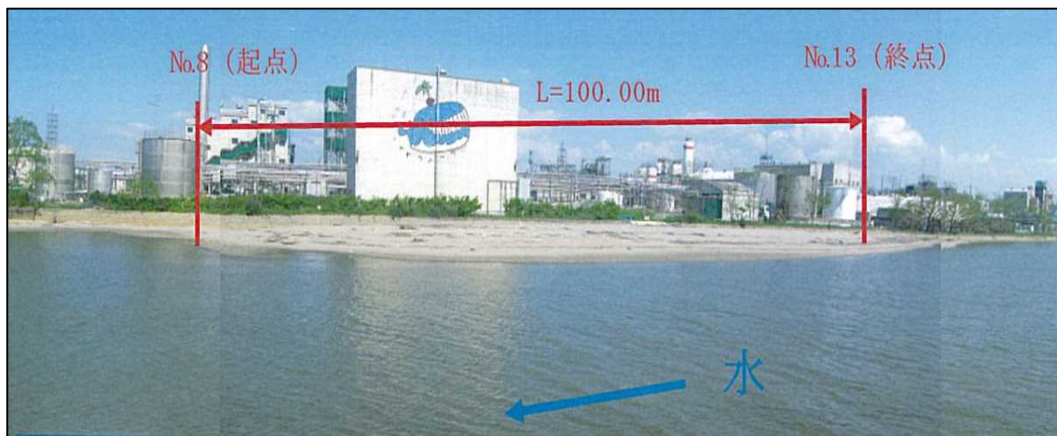
荒川川【阿賀野市】



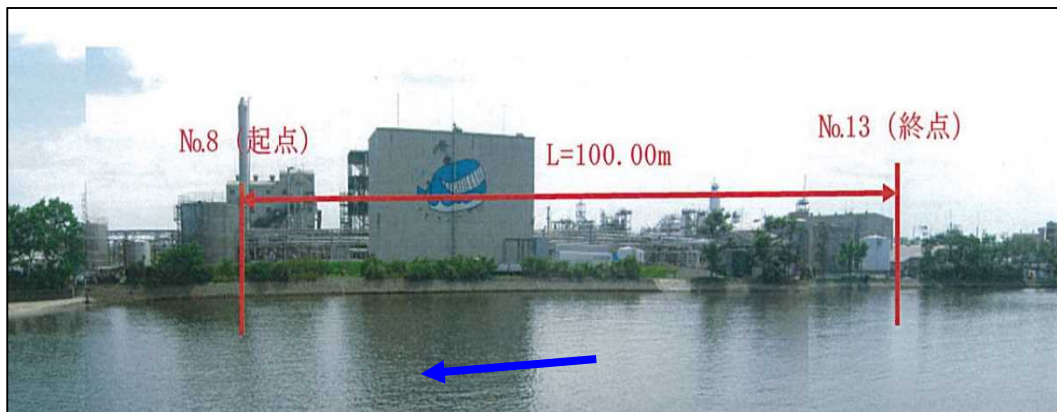
(様式2-取組概要)

カテゴリー	河道掘削等
内容	河道掘削及び樹木の伐採の効果 (河道掘削状況②)
実施主体	新潟県 (新潟地域整備部・新津地域整備部)

「防災・減災、国土強靱化」のための3か年緊急対策により、重点的に河道掘削、樹木伐採を実施し、相当の水位低減効果を発揮したものと推察されます。



新潟地域整備部管内 (写真はR1年度、R2年度実施中)
新井郷川分水路【新潟市 北区】



新津地域整備部管内 新江川【五泉市】
(写真はR1年度、R2年度実施中)



(様式2-取組概要)

カテゴリー	河道掘削等
内容	河道掘削及び樹木の伐採の効果（河道掘削状況③）
実施主体	新潟県（津川地区振興事務所）

「防災・減災、国土強靱化」のための3か年緊急対策により、重点的に河道掘削、樹木伐採を実施し、相当の水位低減効果を発揮したものと推察されます。（写真はR1年度実施箇所・R2年度は実施中）



阿賀野川【阿賀町】



姥堂川【阿賀町】



(様式2-取組概要)

カテゴリー	円滑な避難活動や水防活動を支援するためCCTVカメラ、簡易水位計や量水計の設置
内容	危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの整備状況
実施主体	新潟県【新発田・新潟・新津地域整備部、津川地区振興事務所】

河川や河川管理施設のリアルタイムな状況を把握するため、危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラの整備を進めています。

【危機管理型水位計の整備】

年 度：H30年度～令和2年度
 箇所数：全県で150河川182箇所
 (阿賀野川流域：18河川18箇所)
 水位情報の公開：R2年度全箇所公開済み

【簡易型河川監視カメラの整備】

年 度：令和元年度～令和2年度
 箇所数：全県で67河川124箇所
 (阿賀野川流域：8河川14箇所)
 画像情報の公開：令和2年7月公開済み

機関名	番号	河川名	設置箇所名(観測所名)
新発田	1	駒林川	阿賀野市 中央町2丁目
	2	七浦川	阿賀野市 大野地
	3	中田川	新発田市 緑町2丁目
	4	小島川	新発田市 上中山
	5	都辺田川	阿賀野市 福永
	6	新発田川	新発田市 住吉町
	7	大荒川	阿賀野市 畑江
	8	安野川	阿賀野市 村杉
	9	瀬戸川	阿賀野市 草水
新潟	1	派川新井郷川 分水路	新潟市 北区 松浜本町
	2	福島潟放水路	新潟市 北区 浦ノ入
新津	1	阿賀野川	五泉市 佐取
	2	仙見川	五泉市 夏針
津川	1	姥堂川	阿賀町 津川
	2	阿賀野川	阿賀町 日出谷
	3	綱木川	阿賀町 下綱木
	4	馬取川	阿賀町 馬取
	5	五十母川	阿賀町 五十島

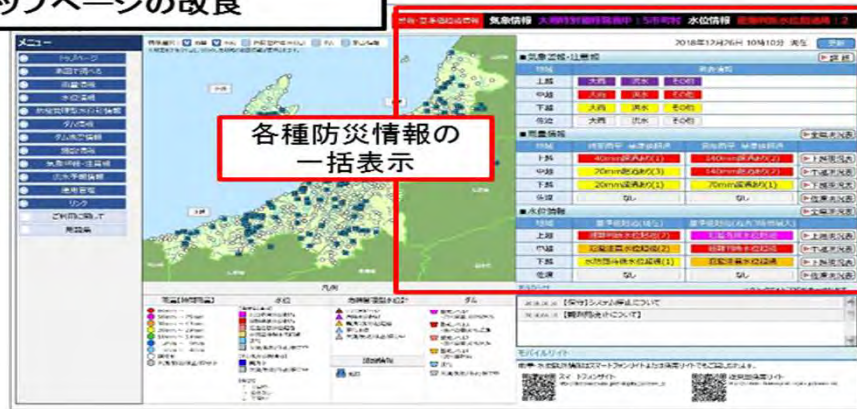
機関名	番号	河川名	設置箇所名(カメラ局名)
新発田	1	安野川	阿賀野市 金田町
	2	安野川	阿賀野市 大室
	3	大荒川	阿賀野市 大野地樋門
	4	中田川	新発田市 新富町
新潟	5	派川新井郷川 分水路	新潟市 北区 新元島町
新津	6	早出川	五泉市 不動堂
津川	7	阿賀野川	阿賀町 栄川島
	8	阿賀野川	阿賀町 白崎
	9	阿賀野川	阿賀町 津川
	10	阿賀野川	阿賀町 京ノ瀬
	11	阿賀野川	阿賀町 鹿瀬
	12	西之沢川	阿賀町 西
	13	常浪川	阿賀町 広谷
	14	常浪川	阿賀町 天満

(様式2-取組概要)

カテゴリー	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
内容	新潟県河川防災情報システムの改良
実施主体	新潟県【河川管理課】

新潟県河川防災情報システムをR元年6月に全面リニューアル。R2年7月監視カメラ公開。
危機管理型水位計の増加に伴い、視認性向上のため既存システムを改良

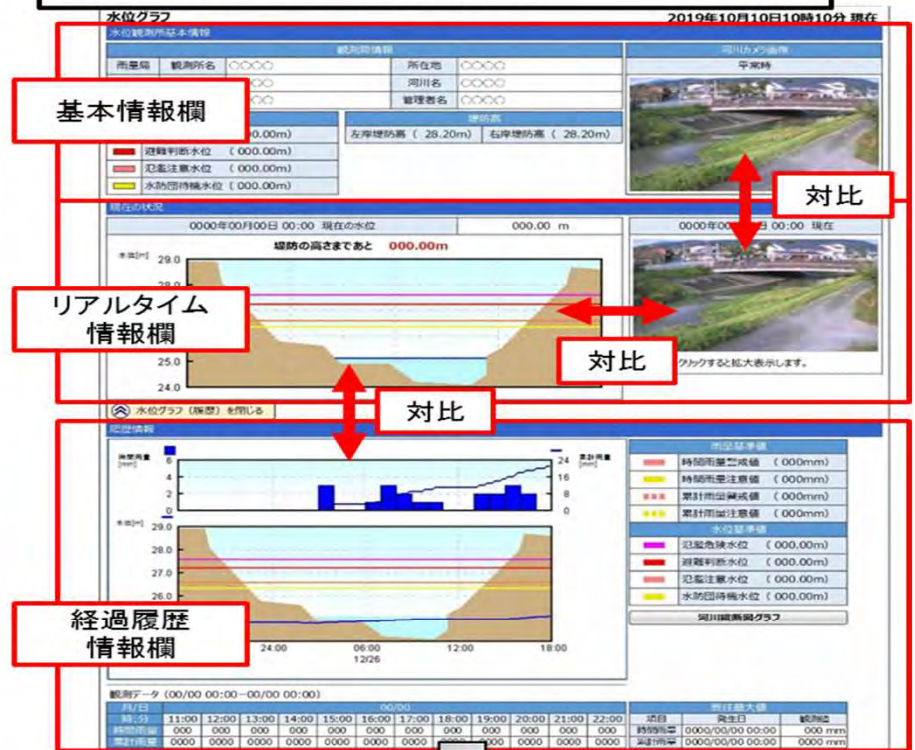
①トップページの改良



②「地図で見る」ページの改良



③「水位情報」ページの改良(予定)



リアルタイム情報の公開

地域住民の主体的な避難行動を支援

(様式2-取組概要)

カテゴリー	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
内容	リアルタイムの水位情報の提供と浸水リスク情報の周知
実施主体	新潟県【河川管理課】

令和元年7月より河川情報のプッシュ型配信サービスの開始

もしもの時に備えよう!
「防災速報・新潟県」で河川防災情報及び緊急情報等を登録いただいた方にメールで配信します!
— 配信する情報 —

河川防災情報
 県内の主要な35河川の**水位情報**及び**氾濫発生情報**を配信します!
 登録時に受信したい河川及び情報を選択できます

配信メール(例)
 【警戒レベル4相当】※
 ○○川の○○市○○付近で水位が上昇し、避難情報発令の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。防災無線、テレビ等で市町村の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動を取ってください。

※ 警戒レベルに応じた避難行動の例
 警戒レベル3 ◦ 避難に時間を要する人とその支援者は避難開始!
 その他の人は避難準備を整えましょう!
 警戒レベル4 ◦ 全員が避難を開始!

その他の緊急情報
 緊急にお知らせしたい情報がある場合、メールを配信します!

— 登録方法 —

- 1 左記QRコードの読み取り又は新潟県防災ポータルより、サイトにアクセス
- 2 「空メール」を送信
- 3 登録用URLが記載されたメールが届く
- 4 届いたメールの手順に従って登録

※ 1 登録料無料 ※ 2 通信料・パケット利用料金等は利用者の負担になります。
 お問い合わせ：新潟県防災危機対策課 TEL：025-250-338/新潟県土木部河川管理課 TEL：025-280-5414

自らの命を自ら守るための
防災ナビ **新潟県公式**

新潟県内の防災情報がプッシュ通知で届きます。
 トッキッキ

防災情報
 避難情報や気象情報など、最新の防災情報を表示します。

避難所・避難場所検索
 現在地周辺の避難所等を自動的に検索して地図上に表示します。

現在地情報
 現在地の標高、周辺の避難所などを表示します。

安否登録
 現在地から安否登録ができます。登録されている方の安否確認ができます。

インストール
 App Store / Google Play

登録制メールサービスによるリアルタイムの水位情報の提供

防災アプリによる浸水リスク情報の周知

地域住民の主体的な避難行動を支援

カテゴリ	感染症対策を踏まえた避難所運営に関する研修会等の実施
内容	実践的な研修・訓練の実施
実施主体	五泉市

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた適切な避難所運営を目的として、実際に避難所運営にあたる市職員等を対象に、研修会や意見交換を実施しました。

【実施概要】

- ・ 時期及び回数：6月～11月 計3回
- ・ 参加者：延べ117人
- ・ 対象：避難所運営にあたる市職員、保健師、消防職員
- ・ 実施内容：①避難所レイアウト等のデモンストレーション及び意見交換
②基本的な対応研修（座学）
③避難所ごとの運営シミュレーション（8施設）



避難所となる施設でのデモンストレーション
(パーティションの設営)



担当避難所ごとの意見交換



避難所ごとの運営シミュレーション
(受付時の対応確認)

カテゴリ	小学校等における水災害教育を実施
内 容	出前講座(水害教育)の実施
実施主体	五泉市

水害や避難行動の教育、ハザードマップの説明等を目的に、市内小学校や保育園等において出前講座を実施しました。
【※令和3年1月末現在】

【実施概要】

- ・ 実施数：8回
- ・ 参加者：246名が参加
- ・ 内 容：小学生に対する水害や避難行動の教育
保育園児の保護者に対するハザードマップの説明 等



五泉南小学校での出前講座



橋田小学校での出前講座



すもと保育園でのハザードマップの説明

カテゴリ	関係機関と連携した重要水防箇所共同点検
内容	出水期前の重要水防箇所の共同点検
実施主体	新潟県(新津地域整備部)、五泉市

出水期を向かえるにあたり、新潟県及び五泉市の関係者が共同で、市内重要水防箇所の共同点検を実施しました。

【実施概要】

○重要水防箇所共同点検

- ・日時：令和2年6月3日(水) ・参加者：10名
- ・実施内容：阿賀野川水系早出川他、市内重要水防箇所4か所を新潟県及び五泉市の関係者で共同点検を実施。
- ・参加者内訳：新潟県(新津地域整備部)、五泉市(都市整備課、上下水道局、地域振興課、消防本部、総務課)



説明の様子



早出川洗堀場所の点検
(川瀬・五十嵐新田地内)



能代川千原水位観測所付近
(千原地内)

カテゴリ	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
内容	自主防災組織の設立支援・防災士の養成
実施主体	新潟県、阿賀野市

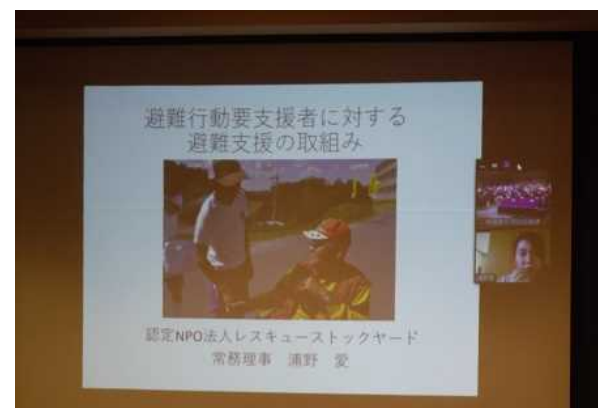
避難行動要支援者に対する避難支援の取組みを推進し、自治会(自主防災組織)内における避難行動要支援者名簿の活用や個別計画の作成等、避難支援の在り方についての理解を深めてもらうために、避難支援セミナーを実施しました。 ※新型コロナウイルスの感染防止対策のためオンラインでの実施

【実施概要】

- ・ 日 時：令和2年11月21日（土）午前10時から正午まで
- ・ 参加者：約70人
- ・ 内 容：認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード常務理事の浦野愛氏による講演



会場全体



オンライン(Zoom)による講演

(様式2-取組概要)

様式作成機関:新潟市

カテゴリ	避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善
内容	マイ・タイムライン作成促進について
実施主体	新潟市

本市では、水害に備えて、前もって自分のとるべき行動を整理し、時間軸にまとめたオリジナルの避難行動計画である「マイ・タイムライン」の普及を図るべく、市HPへの作成様式の掲載や登録制メールである「にいがた防災メール」での広報、自主防災組織等へのチラシ送付を行ったほか、以下の市民向けの防災関係イベントにおいて説明の場を設けるなど、「マイ・タイムライン」の普及啓発を図る取り組みを行っている。

○親子防災講座 (①9/26 ②10/4 ③10/21)

※市がNPO法人へ委託し、小学校PTA行事等で保護者や団体向けに行っている防災教室。

○さわやかトーク (①9/27 ②10/23 ③10/24)

※市の事業や施策を市民へ説明、意見交換する「出前講座」。



新潟市「マイ・タイムライン」作成様式



「親子防災講座」

The graphic displays the 'マイ・タイムライン' (My Time Line) template, which includes sections for '1. ハザードマップで洪水時の浸水深や避難場所を確認しよう!', '2. あなたの家族の状況を確認しよう!', '3. 避難行動の準備を確認しよう!', '4. 避難時の注意点を考えよう!', and '5. 避難方法を考えよう!'. It also features a checklist for '避難準備や避難行動の確認' and '避難時の注意点を考えよう!'.

カテゴリ	新技術を活用した水防資機材の検討及び配備
内容	避難施設鍵ボックス整備事業
実施主体	新潟市

本市では、近年多発している大規模災害に備え、避難所を円滑に開放できるよう令和2年度から暗証番号式鍵ボックスを避難所へ設置する事業に取り組んでいます。

【事業実施内容】

(1) 目的

災害時、施設管理者が不在の時間帯でも、市職員の到着を待たずに、避難してきた住民が速やかに建物内に退避し、安全を確保できるよう施設開放体制の強化を図る。

(2) 実施内容

避難所として指定している施設のうち63施設へ、暗証番号式鍵ボックスを設置。今後、改修工事中である1施設へ設置し、R2年度は市内64施設への設置を行う。

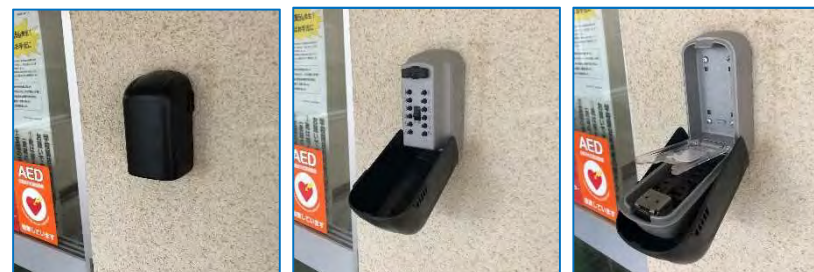
(3) 整備による効果

- ▶ 避難施設の開放体制の充実（避難所機能の強化）
- ▶ 迅速な屋内退避、避難者の安全確保

(4) 今後の展開

R3年度に鍵ボックス設置済の避難所で避難所運営訓練での活用や関係者へのアンケート調査等の効果検証を実施し、R4年度以降、設置施設を拡大していく。

施設へ設置した暗証番号式鍵ボックス



カテゴリ	関係機関が連携した訓練の実施
内 容	洪水対応演習、水防訓練等の実施
実施主体	新発田市

洪水対応演習、水防訓練等の実施ではないが、防災関係機関相互の緊密な連携体制を構築し、併せて地域住民の防災に対する意識の高揚を図り、地域住民と防災関係機関との連携及び協力体制の強化を図ることを目的として令和2年度新発田市総合防災訓練を実施した。

【実施概要】

- ・ 日 時：令和2年10月4日(日)
- ・ 参加者：地域住民、防災関係機関など計28機関
- ・ 内 容：災害対策本部設置訓練、情報収集・伝達訓練、救援物資輸送・受入訓練、住民避難・誘導訓練、避難所等開設・運営訓練、災害ボランティアセンター設置・運営訓練ほか、計15の訓練等を実施した。



事故車両からの救出・救助・トリアージ訓練



初期消火訓練



倒壊家屋からの救出、救助訓練

カテゴリ	広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知
内容	洪水ハザードマップの改良・周知
実施主体	阿賀町

浸水情報及び避難に関する情報等を住民へ分かりやすく提供することにより人的被害等を防ぐことを目的に作成し、全世帯へ配布。

【実施概要】

- ・対象河川：阿賀野川、常浪川、新谷川、姥堂川
- ・種類：津川地区、鹿瀬地区、上川地区、三川地区 合計4地区 20,800部



阿賀町洪水ハザードマップ

(様式2-取組概要)

様式作成機関:新潟地方気象台

カテゴリ	2. ソフト対策の主な取組 ■ 情報伝達、避難計画等に関する事項 ⑩ 気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善
内容	・メッシュ情報の充実化
実施主体	新潟地方気象台

- 「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度」も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善。
- 現行では表示されていない内水氾濫の危険度を本川（信濃川）にハッチ表示し、注意警戒を喚起。

洪水警報の危険度分布

改善案 (イメージ)

内水氾濫の危険度を河川流路周辺にハッチで表示

ハッチ表示はON/OFFできるようボタンを追加(デフォルトOFF)

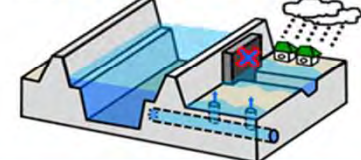
湛水型内水氾濫の危険度

指定河川洪水予報

地図の色

ツール

湛水型の内水氾濫



河川の水位が高くなり、周囲の水が河川に排水できない。河川沿いや合流点付近で発生。

- ・ 指定河川洪水予報
- ・ 水位情報(川の防災情報)

指定河川洪水予報
 (国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。)

高	氾濫発生情報【警戒レベル5相当】
危険度	氾濫危険情報【警戒レベル4相当】
低	氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】
	氾濫注意情報【警戒レベル2相当】
	発表なし

洪水警報の危険度分布

高	極めて危険
危険度	非常に危険【警戒レベル4相当】
低	警戒【警戒レベル3相当】
	注意【警戒レベル2相当】
	今後の情報等に留意

[本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度]
 河川の増水によって周辺の支川・下水道からの排水ができなくなることで発生する内水氾濫による洪水被害のおそれがあるときに発表。

- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】

ボタンON時に凡例を表示

改修スケジュール

第1段階(令和2年度)
5/28 改修済
 大河川の表示改善
 信濃川など



第2段階
 (令和3年度以降)
 中小河川の表示改善
 浄土川、太田川など

カテゴリ	2. ソフト対策の主な取組 ■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組 ③ 出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催
内容	県主催令和2年度防災気象研修と連携した出前講座の実施
実施主体	新潟地方気象台

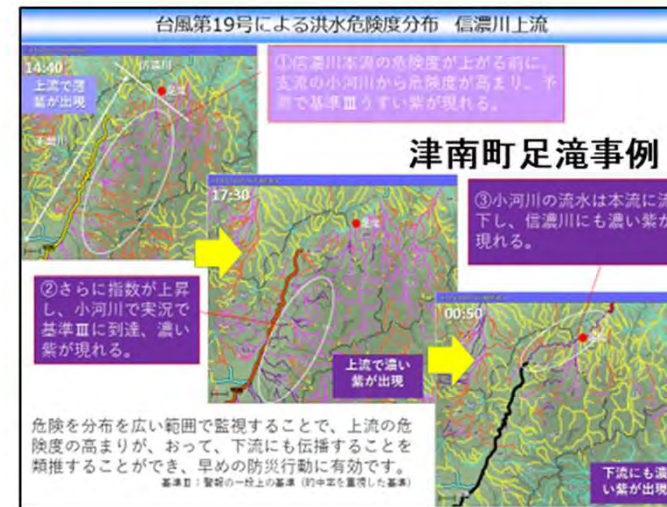
県主催令和2年度防災気象研修と連携した出前講座の実施

【実施概要】

- ・ 日 時：令和2年9月10日（水）13時30分から15時50分。 県内各市町村防災担当者参加
- ・ 内 容：気象台から発表される気象情報を見る際のポイント、防災情報提供システムの使い方について、流域雨量指数について市町村防災担当者に対し出前講座を実施。
コロナ禍における、普及啓発活動に苦慮していたが、県のWEB会議システムを使用した防災研修に参加、県河川課、砂防課などとも連携した講座を実施。

洪水関連

- ・ 流域雨量指数と洪水警報の危険度分布について 概論
- ・ 洪水警報の危険度分布と流域雨量指数帳票
- ・ 令和元年台風第19号の事例から



(2) 新たな課題、新たな取組について

◆ 「水防災意識社会の再構築に取組む情報交換の場」の設置

第7回阿賀野川減災対策協議会での阿賀野市からの提案を受け、担当者レベルで防災・減災への取り組みを推進するための情報交換の場を、令和2年度より設置。

＜令和2年度 第1回＞

令和2年12月2日(水)14:00～15:00

場所:阿賀野川河川事務所 1階 災害対策室

幹事:阿賀野川河川事務所

テーマ:

「マイ・タイムラインの取組み」

＜令和2年度 第2回＞

令和2年12月22日(火)14:00～15:00

場所:阿賀野川河川事務所 4階 災害対策室

幹事:阿賀野市

テーマ:

「マイ・タイムラインをどのように広げていくか」



(議事録;抜粋)

1 マイ・タイムラインをどのようにして広めていくか

(1) 講習会

- ・ 令和3年度、県が中学生や高校生を対象とした「マイ・タイムライン教室」を全県展開する。家族と一緒に避難行動について考える仕組みを考えていて、子どもから親への展開も期待できる。市町においては、本取組を積極的に活用していく。
- ・ 住民対象のマイ・タイムラインに特化した講習会について、阿賀野川河川事務所に講師の依頼をすることは可能。こちらについても活用していく。

(2) 広報

- ・ 新発田市や阿賀野市では、今年度、広報紙へ記事を掲載。
- ・ 阿賀野川河川事務所においては、事務所ホームページに、各市町のマイ・タイムラインのホームページのリンク集を掲載予定。

(3) 様式

- ・ 市町によって、マイ・タイムラインの様式が異なるが、ある程度、様式の統一化をする必要があるか。
→ 県の「マイ・タイムライン教室」では、県としての様式があるわけではない。また、既に作成済みの様式を変えること自体も負担になることから、阿賀野川河川事務所管内で様式を統一するようなことは行わない。

(4) その他

- ・ 「マイ・タイムライン」という言葉だけでも抵抗を抱く住民がいる。

◆自由意見(取組を進める中での課題や取組の提案など)

令和2年7月31日に市内で大雨となった。市が発令した避難情報を市民へいかに迅速かつ正確に伝えるかが課題である。

また、市民が避難情報を受け取っても、すぐに避難行動に移らない場合がある。マイ・タイムラインの作成や地域で声をかけあって避難するようあらかじめ決めておくなど、地域の防災力向上を進める必要がある。

(3) 緊急行動計画の今後の展開について

「緊急行動計画」の今後の展開について

- 水防災意識社会の実現に向け、令和2年度を目標として、円滑かつ迅速な避難・被害軽減のための取り組み等について「緊急行動計画」として取りまとめ着実に推進してきた。このうち、危機管理型ハード対策については、令和2年度までにおおむね完了の見込みとなったところ。
- 緊急行動計画に含まれていた避難や水防対策については、引き続き、大規模氾濫減災協議会において「地域の取組方針」を作成するとともに、これを各河川で進められている「流域治水プロジェクト」に位置付けることで、あらゆる関係者との密接な連携体制のもと、防災・減災の取組を継続的に推進していく。

